



# 明日へと響け、復興のつち音。

## 復興支援ニュース-宮城版-

内閣府政府広報室では、宮城県内の被災者の皆さまにとって役立つ政府や自治体の復興支援策や、各地で取り組まれている復興へ向けたさまざまな活動事例を復興支援ニュース-宮城版-としてご紹介いたします。ご紹介する復興支援策や活動事例については、支援団体等からヒアリングした被災者の皆さまの支援ニーズが高いテーマをもとに構成しております。

### I. 生活再建に関する復興支援策

#### 心の相談 ホットライン・みやぎを開設

内閣府と宮城県は、長引く避難生活などから生じる様々な悩みやストレス、DV被害などのご相談にきめ細かく対応するため、臨時の相談窓口を開設しています。

##### 【相談窓口】

心の相談 ホットライン・みやぎ:0120-933-887  
(受付時間:土日・祝日を除く午前8時30分から午後4時45分)

### II. 事業再建に関する復興支援策

#### 漁協経営再建緊急支援事業

被災した漁業者・漁協等の復旧資金を円滑に融通することを目的に、震災により被害を受けた漁協および漁連を対象として、経営を再建するために借り入れる資金を実質無利子化しています。融資枠は総額100億円です。

##### 【お問い合わせ先】

水産庁水産経営課:03-3502-8416  
(受付時間:土日祝日を除く午前9時半から午後6時15分)

### III. 雇用対策に関する復興支援策

#### 被災者向け農の雇用事業

農林水産省では、農業法人等が被災された方々を雇用して、農業技術や経営ノウハウ習得のための研修を実施した場合、研修経費の一部を助成する「被災者向け農の雇用事業」を行っています。月額9万7千円まで、最長2年間の助成が受けられます。

##### 【お問い合わせ先】

宮城県農業会議:022-275-9164



## 復興に向けた活動事例のご紹介

### 南三陸町

## 町民自らが立ち上がり、支えあう「被災者生活支援センター」

震災で62%の家屋が流出・全壊という多大な被害を受けた南三陸町では、多くの町民が仮設住宅や県内に散らばる「みなし仮設」での生活を余儀なくされている。慣れない社会関係での生活は孤独死や自殺を引き起こす原因にもなることは、阪神・淡路大震災の事例でも明らかになっている。

この問題を「町民の力」で乗り越えよう、と始まったのが「被災者生活支援センター」の支援員制度。被災者でもある町民を「支援員」として雇用。専門家による本格的な研修を受けた後、各戸の巡回し声かけを行う。初めは訪問先で「二度と来るな」と拒絶されたりもしたが、今では「待ってたよ」と言われるようになるなど、支援員としての成長と誇り、そして住民と心を通わせる喜びを感じているようだ。

「町民は『支援される存在』だけではなく、町の未来を担う大切な人材でもある」と、町の福祉アドバイザーで、この制度の考案者でもある本間照雄さん。他からの支援に頼らずとも自立できる『地域力』を育てることで、南三陸町民としての誇りや町への愛着を醸成したい、と話してくれた。



上：運動不足解消のため仮設住宅で始まった「ちょこっと運動」

下：「被災者生活支援センター」スタッフのみなさん。左から本間照雄さん、須藤美代子さん、渡邊重一朗さん



### 亶理町他

## 仮設生活の「つながりと生きがいがづくり」 「ホープワールドワイド・ジャパン」

亶理町や東松島市を中心に、「押し花教室」「アートセラピー」などのプログラムを実施。被災者の心のケアとコミュニティづくりをサポートしている。また、県外からのボランティアを継続的に派遣し、ボランティアと被災者の交流も支援。心身の健康増進、生きがいがづくりなどを狙いとする市民農園も計画中。

### 多賀城市

## 住民主役の復興、まちづくりを応援 「一般社団法人 復興応援団」

多賀城市を中心とする各仮設住宅団地の住民や市の担当課、市民活動サポートセンターなど地域のキーパーソンを軸として、被災地域の住民自身が主役となる復興、まちづくりの仕組みを構築。徐々に活動の主体を「復興応援団」から地元で積極的に活動している「アクティブパーソン」にシフトし、活発なコミュニティづくりをサポートしていく。

### 名取市他

## 心に寄り添い、前を向く力を支える 「国際交流協会ともだちin名取」

心に寄り添う傾聴で、心に溜まった不安やストレスを吐き出してもらうことを目的に、仮設住宅やみなし仮設のある地域で、定期的にお茶っこのみを開催。そのほ、他団体、民間企業、自治体等と連携し、仮設住宅のコミュニティづくりや被災者の生きがいがづくり、心のケアにつながるさまざまなサポートを行っている。

### 石巻市

## 県外からの支援や情報発信の窓口 「一般社団法人 石巻災害復興支援協議会」

NPOや社会福祉協議会、行政などが円滑で効率的な支援を行うための場を提供する団体として発足。定期的に協議会を実施し、市内で活動するさまざまな団体どうしの情報共有を進めている。また、県外からの支援受け入れ窓口の役割も担っており、復興イベントや復興ツアーの企画、石巻の情報発信等、石巻市を盛り上げるための取り組みも積極的に行っている。

【復興支援ニュースに関するお問い合わせ／活動事例に関する取材のご依頼】

内閣府「被災地向け広報」事務局(担当: 櫛山)

電話／03-5565-6417 FAX／03-5565-4467

【宮城県テレビ/ラジオ局番組覧】

テレビ	宮城テレビ	希望のしるし 土曜日 17:25 ~ 17:30
	東北放送	希望へ みやぎ 金曜日 18:55 ~ 19:00
	仙台放送	ともに、希望を！ 日曜日 17:25~17:30
	東日本放送	希望のアルバム 月曜日 16:13~16:18
コミュニティFM ラジオ	仙台シティFM	希望の杜 仙台への想い 土曜日 9:05~9:15
	せんだい泉エフエム放送	キボウノチカラ 火曜日 14:00~14:10
	エフエムたいはく	しらかし希望発信局 木曜日 17:20~17:30
	石巻コミュニティ放送	希望へむかって！いしのまき 金曜日 8:30~8:40
	エフエムいわぬま	Hope for the best 広がれ希望の輪 金曜日 13:00~13:10
ラジオAM	東北放送	前を向いて行こう！みやぎ希望堂 土曜日 10:05~10:15

